

要綱第 1 号様式

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	令和 4 年 5 月 10 日
住所 (法人にあっては, 主たる事務所の所在地) 東京都中央区八重洲 1-4-16 東京建物八重洲ビル	氏名 (法人にあっては, 名称及び代表名) 東京建物株式会社 ロジスティクス事業部長 川添 有一

京都市地球温暖化対策条例# ☒ 第 4 9 条第 1 項 ☐ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新 築 ☐ 増 築		
工事着工予定年月日		令和 4 年 6 月 1 日		
工事完了予定年月日		令和 5 年 6 月 3 0 日		
建築物 の概要	名 称	(仮称)T-LOGI京都伏見新築工事		
	所 在 地	京都府京都市伏見区横大路東裏町 29・31・44-1 横大路菅本 2-3・2-5・2-6・ 2-7・2-9・2-10・2-25・2-26・2-27・2-39・8・1-20・1-146・1-148・1-149		
	構 造	SRC 造 一 部 S 造	階 数	地上 4 階地下 0 階
	敷 地 面 積	11428.91 平方メートル	高 さ	29.14 メートル
	建 築 面 積	6,530.34 平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	25,526.15 平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等	1,733.44 平方メートル	
		学 校 等		
		飲 食 店 等		
		集 会 所 等		
工 場 等	23,792.71 平方メートル			
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		A ランク BEE = 1.7		
設計者の住所及び氏名の公表について		☒ 公表可 ☐ 公表不可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
☒ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外壁：サンドイッチパネル（ロックウール） 屋根：ダブル折板（グラスウール）
☐ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	
☒ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明の採用
☐ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	
☒ 環境への負荷が少ない材料の利用	岩綿吸音板・OAフロア・ビニル床シートにリサイクル材を採用
☐ 地 域 産 木 材 の 利 用	
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水型便器・自動水栓を採用
☐ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
☒ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	耐用年数の長い配管材を採用
☒ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	トイレの床に防汚性の高い床材を採用 壁掛式の便器を採用
☒ 緑 化 の 実 施	敷地外周部に緑地を計画
☐ 電気自動車等の充電設備の設置	
☐ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
☒ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	吹付断熱材はODP値及びGWP値の低いものを採用 (吹付硬質ウレタンフォームA種1)
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)